

学生たちによる古民家修復活動

～限界集落の再生・活性化目指して～

福井工業大学工学部建築土木工学科 教授
多 米 淑 人

1. はじめに

福井県勝山市北谷町小原は石川県境の山間にある集落である。集落内は段々の石垣の上につた民家や小道を流れる小川、多くの草花など原風景が残る自然豊かな土地である。当集落は明治期において90戸、400人ほどの人々が暮らしていたが、38豪雪や56豪雪などを契機として、年々人口は減り続け、近年の平成18年豪雪によって多くの空き家が破損、倒壊し、現在は15余戸の住宅が残るものの、住民は2戸2人（集落人口は1人）という廃村の危機が迫った限界集落である。

この小原集落の再生・活性化を目指し、(旧)地元民と大工棟梁、福井工業大学建築土木工学科の連携事業として平成18年度に始まった小原ECOプロジェクトは、平成29年度で12年目を迎え、7棟の民家修復と休憩所1棟の建設、小原ECOプロジェクトが主催するイベント他に、学生が企画・運営したイベントも行っている。

また、期間中は修復が完了した民家に泊まり込んで、活動を行なうことから合宿生活による規則正しい生活や挨拶などの礼儀作法、当番制の食事・洗濯係、毎晩行なうミーティングなどによって総合的な人間力も育てている。

2. これまでの取り組み

2.1 古民家修復活動

これまでの12年間で修復した古民家は7棟（内1棟は継続中）で、この活動に参加した学生は述べ190名である。下記は各年度の修復活動の概要である。これらの活動によって、学生たちは大工棟梁らから材料の細工や納まりなどを指導して頂き、大学内の講義だけでは学べない生の知識を吸収している。

- ・平成18年度
期 間：平成18年8月7日～9月18日
参加学生数：10名
内 容：岩本豊家住宅修復および家屋調査
- ・平成19年度
期 間：平成19年8月17日～9月2日
参加学生数：16名
内 容：岩本了蔵家住宅修復（外観）および

西山三喜造家の屋根葺替

- ・平成20年度
期 間：平成20年8月11日～9月11日
参加学生数：12名
内 容：北山保夫家住宅修復（外観）および家屋調査
- ・平成21年度
期 間：平成21年8月6日～8月31日
参加学生数：12名
内 容：北山保夫家住宅の内部整備
- ・平成22年度
期 間：平成22年8月7日～8月27日
参加学生数：12名
内 容：岩山信子家住宅増築部解体、家屋調査および休憩所建設
- ・平成23年度
期 間：平成23年8月8日～8月31日
参加学生数：16名
内 容：道場誓家住宅の土壁補修、下屋再建、家屋調査および岩山信子家住宅外壁張替
- ・平成24年度
期 間：平成24年8月7日～8月31日
参加学生数：24名
内 容：道場誓家住宅の屋根葺替、岸下稔家住宅家屋調査
- ・平成25年度
期 間：平成25年8月5日～8月30日
参加学生数：18名
内 容：道場誓家住宅の内部整備、岸下稔家住宅屋根葺替
- ・平成26年度
期 間：平成26年8月10日～8月31日
参加学生数：16名
内 容：岸下稔家住宅北面・西面の外壁張と正面下屋屋根葺替
- ・平成27年度
期 間：平成27年8月10日～8月31日
参加学生数：18名
内 容：岩山信子家屋根葺替・岸下稔家住宅

南面外壁張、両家間に雪下し用スロープ作成

・平成 28 年度

期 間：平成 28 年 8 月 8 日～8 月 31 日

参加学生数：18 名

内 容：岸下稔家住宅内部整備（1 階）、ピザ窯制作

・平成 29 年度

期 間：平成 28 年 8 月 9 日～8 月 26 日

参加学生数：18 名

内 容：岸下稔家住宅東面外壁張およびウデギ再建、内部整備（2 階）

2.2 古民家 de カフェ

平成 26 年度からは、平成 25 年度に修復が完了した道場誓家住宅を活用して、「古民家 de カフェ」をお盆明けから作業期間最終日前日まで運営している。このカフェは、市民の方々からの修復現場見学の希望や集落散策時の休憩場所が欲しいとの要望に応じるものであり、また、これまでの小原集落の活性化活動の紹介や周知を図るものである。運営は学生と教員が行ない、来客者へは修復状況の説明や民家の建築形式などの解説を行なった。

これまでの4年間で述べ240名余の来客者があり、「田舎の実家を思い出す。」や「古民家修復活動を行っていることは知っていたが、小原にはきたことがない。カフェを開店していると知り訪れた。」「古材（構造材や床板）と新材（壁板）のコントラストが美しい。」などの好意的な意見を頂き、カフェの運営は非常に好評である。また、当活動の意義や集落の現状などを直接、周知することができたことも大きな成果であった。

2.3 小原篝火祭

小原篝火祭は平成 24 年度から毎年 8 月 13 日に開催している学生が企画・運営するお盆の夜間イベントである。足場を組んでの仮設舞台や灯籠の作成、篝火台などの会場準備、設営は学生たちが主体となっている。集落に滞在中の国際ボランティア NGO NICE の参加者も作業に従事し、学生たちは国際交流をも体験している。

内容は年度によって多少異なるが、集落内に篝火を焚き、約 150 基の灯籠を道沿いに並べて、集落をライトアップし、幻想的な雰囲気にも包まれながら能楽宝生流榮雲会による能舞、勝山甚五郎会の伝統民謡や北谷音頭、NICE の方々や学生によるのど自慢大会、参加者が輪になって踊る盆踊り、バンドによる

生演奏など多彩な催しを行なっている。主な参加対象者は離村した旧地元民らで、お互いに交流を深め合い、きわめて有意義なイベントになっている。

3. 受賞歴

これまでの小原 ECO プロジェクトの活動によって、集落人口が1人であることは変わらないものの、交流人口は 1,000 人を超すようになってきている。このような集落存続のための活動が評価され、下記の賞を受賞している。

- ・平成 26 年度：第 10 回 JTB 交流文化賞 最優秀賞
- ・平成 27 年度：ふるさとづくり大賞 大賞（内閣総理大臣賞）
- ・平成 28 年度：第 7 回地域再生大賞 東海・北陸地区のブロック賞
- ・平成 29 年度：福井元気ふるさとづくり活動賞 最優秀賞

4. おわりに

以上のように、小原集落は集落人口が 1 人という廃村の危機が迫る限界集落ではあるものの、学生たちによる活動が、小原集落の資源・資産を活用し、集落の再生・活性化の一助になっていると考えている。さらに、このような活動は学生教育にとっても有意義であり、今後も継続していく予定である。



K家住宅（修復前）



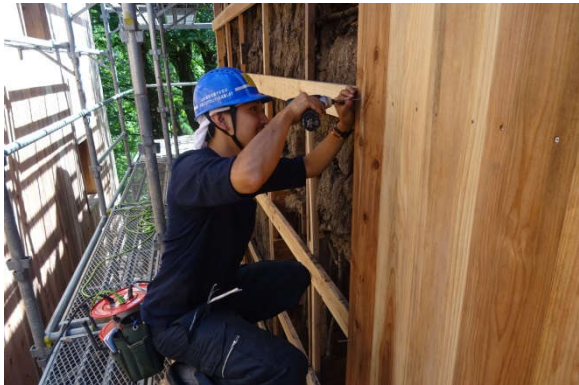
K家住宅（修復後）



作業に励む学生たち①



棟梁らによる直接指導①



作業に励む学生たち②



棟梁らによる直接指導②



作業に励む学生たち③



古民家 de カフェ①



作業に励む学生たち④



古民家 de カフェ②



小原篝火①



BBQ①



小原篝火②



BBQ②



ミーティング①



集合写真 (2016)



ミーティング②



集合写真 (2017)